

# 原点 回帰

～それは前に進むためのリセット～

社会医療法人弘恵会 介護老人保健施設アルテンハイムヨコクラ



## これまでの歩み



ノーリフティングケア開始(2期生)  
委員会発足・技能スタッフ教育

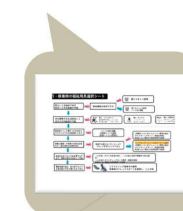
器具調整・環境調整

現在

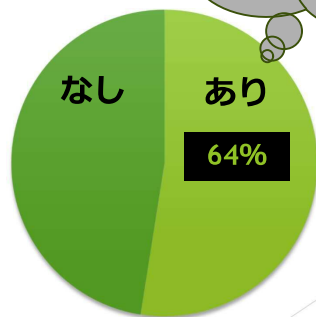
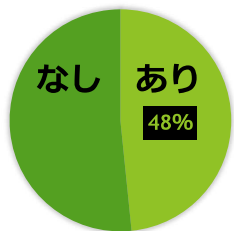


施設内教育システム調整・実施  
(施設内小・中・大研修)

器具調整の見える化・フローチャート

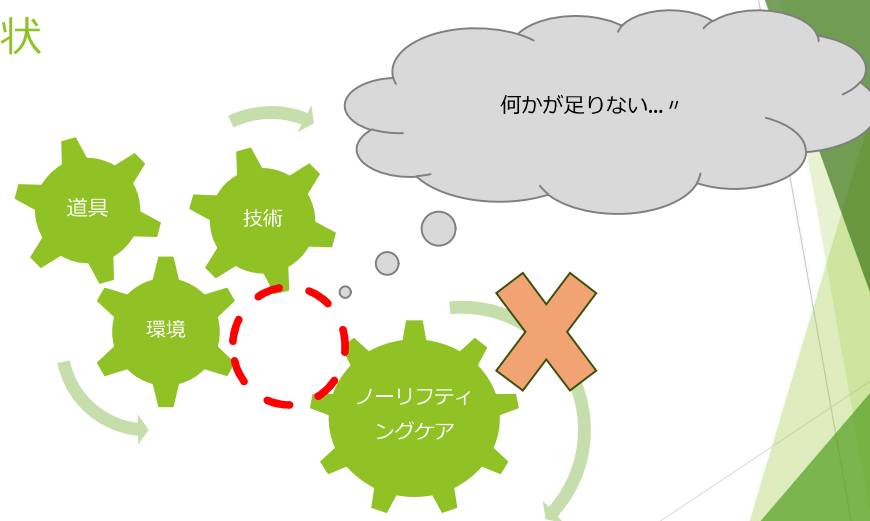


## 腰痛調査(令和5年度と現在の比較)

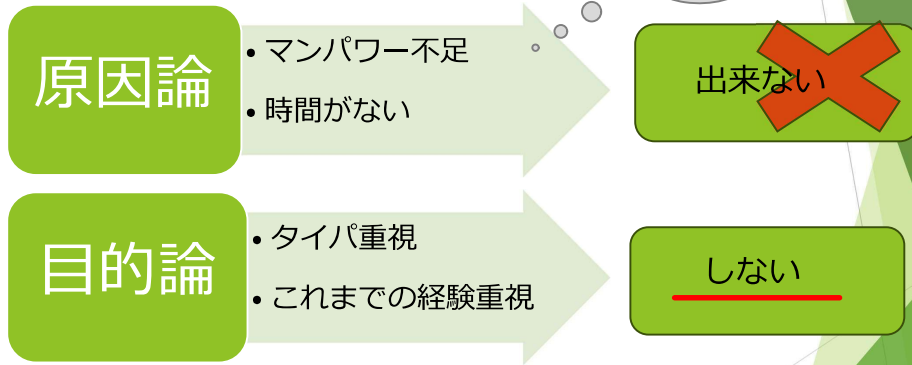


ノーリフ実施も5年  
変わらない、、  
要因は何か、、

## 現状



## アンケート調査により分かった事



▶ 出来ないではなくて **「しようとしていない」「しないといけない理由がわかっていない」**

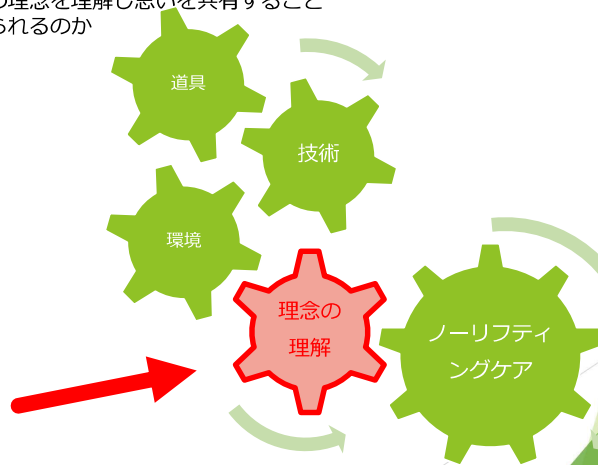
↑ここが重要

## 意識改革（マインドセット変革）段階的な進行



## だからまず大事なものは

ノーリフティングケアの理念を理解し思いを共有すること  
なぜやるのか 何が守られるのか



## 理念・構造教育



**なぜ今、ノーリフティングケアか**

- ・ 課題による業務・体制強化(スタッフ減少)
- ・ 介護職による業務・セーフティ
- ・ 業務の効率化(設備・体制)

**ノーリフティングケアとは**

- ・ 「持ち上げない」「引く手はない」「人と人との絆の力を活かすケア」
- ・ Safety (安全)
- ・ Quality (品質)
- ・ Independence (自立)

**理念 (Philosophy)**

本質:

- ・ 全人的な成長
- ・ 福祉の価値を最大化
- ・ 一人ひとりの成長
- ・ 社会貢献

**実現の仕組み**

組織体制

研修体制

人材育成

施設整備

福祉用具

**構造 (しくみ) の全体像**

ノーリフティングケア = 理念 + 仕組み + 実践

利用者中心のケア実践

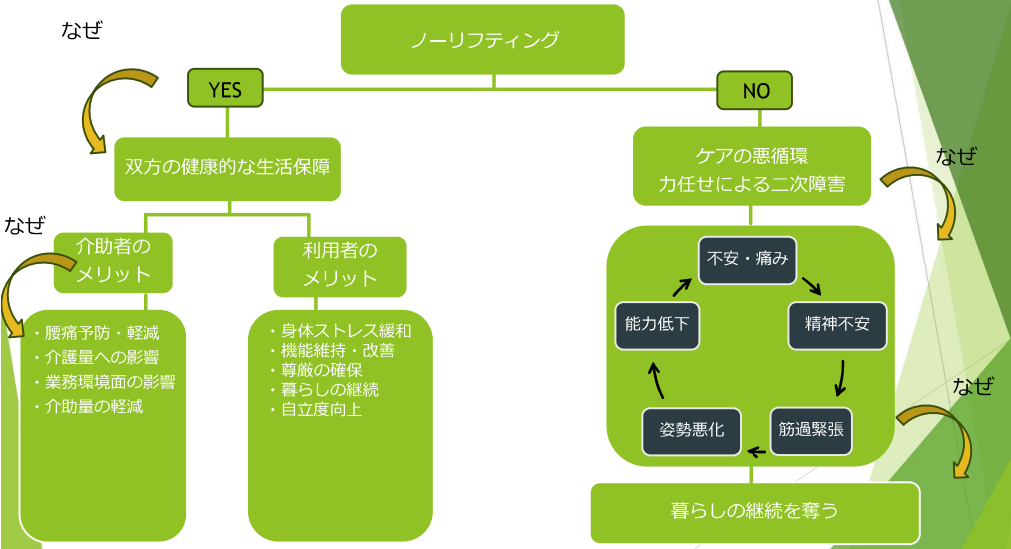
職員教育・福祉研修活用

組織体制・設備整備

**現場での意識転換**

- ・ 「目標達成」が目的ではない
- ・ 「安全・品質を守る」が前提
- ・ 成長機会を一人ひとりに、文化として

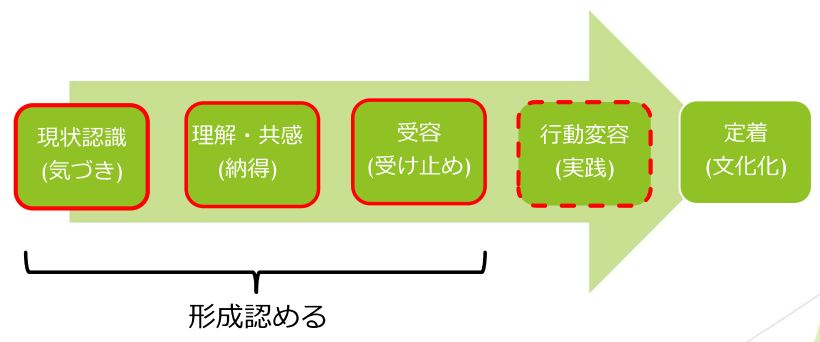
# 理解の過程 (ロジカルシンキングを持ちいて)



# リアクション



# 意識改革 (マインドセット変革) 段階的な進行



# まとめ

小さな「意識」が施設全体を変える

- ▶ 制度や研修だけでは根付かない「文化」として育てるもの。
- ▶ 技術・器具に加え「なぜやるのか」を共有すること
- ▶ 意識の共有  
それが文化になる

“This is 原点回帰”

